科目名	英語演習ＩＣ(English Practice ＩC)

学　年	学　科(コース)	単　位　数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第5学年	経営情報学科	学修	1 単位	必修	講義	前期	45 時間

担　当　教　員	【常勤】 准教授　南　優次

学　習　到　達　目　標

科目の到達目標レベル	①英語構文の体系的な理解ができる。 ②テーマに沿った英会話の基本が理解できる。 ③発音やイントネーションに配慮した基本的な英会話ができる。

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	英語構文に添った定型英作文が出来る。	英語構文に添った定型英作文を、3／4程度出来る。	英語構文に添った定型英作文を、3／5程度出来る。	英語構文の概念を理解していないため、定型文を作成出来ない。
到達目標②	テーマに添った英会話が出来る。	テーマに添った英会話が3／4程度出来る。	テーマに添った英会話が3／5程度出来る。	テーマが理解できていないため英会話が出来ない。
到達目標③	発音やイントネーションに配慮した英会話が出来る。	発音やイントネーションに配慮した英会話が、3／4程度出来る。	発音やイントネーションに配慮した英会話が、3／5程度出来る。	発音やイントネーションの原理が理解できていないため、英会話が出来ない。

学習・教育到達目標	(G)②	JABEE基準1（2）	(f)

達　成　度　評　価　（%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	20		20				100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○		○				
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能【　】									
態度・志向性(人間力)【　】									
総合的な学習経験と創造的思考力【　】									

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	英語演習Ⅰ・Ⅱ
教科書	アメリカ口語教本・中級用、W.L.クラーク著、研究社刊
補助教材等	

学習上の留意点

本校指定の外部資格であるTOEICの500～750，英検の2級～準1級レベルの教材である。
実践的な会話能力養成を目指すので、シャドーイングが自然にできるまで反復練習することが必要である。
また、TOEIC公式HP及び英検公式HPでは、英語学習者サポートアプリが充実している。
講義の中で、TOEIC及び英検がHP内で案内する英語学習スケジューリングサポートページを紹介するので、
本校の情報インフラを十分に活用して、TOEIC及び英検を受験する準備を効率的に進めることが必要である。

担当教員からのメッセージ

２１世紀も１５年を過ぎようとしています。そして、５０年前は思いもしなかったようなことが、実現しつつあります。特に、英語で熱く実現可能な未来を語る人は、たくさんいます。英語による言語情報処理能力が優れていて、問題解決能力がある人が、明確なビジョンを持つと、人類にとって、とてもいいことを実現するということが、共通して言えそうな気がします。アラン・ケイ、スティーブン・ジョブス、ビル・ゲイツは、皆さんにとてもわかりやすいメッセージを贈っています。英語が読めれば、彼らのメッセージをすぐに理解することができます。イーロン・マスクも飛びぬけてます。日本語訳もたくさんあります。でも、ダイレクトメッセージを一度は読んで下さい。感動があるかもしれません。頑張って下さい。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	ガイダンス・はじめに Unit１ DIY - Do It Yourself	シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。Questions. Tag questionsの用い方を理解できる。	予習として、Unit１のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
2	Unit２ The Pen Is Mightier Than the Sward	I hear, You see, I see, I don't imagine, Come over, の用い方を理解できる。	予習として、Unit２のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
3	Unit３ Coffee Time	You can't beat/It's funny/How about/That sounds/Going to の用い方を理解できる。	予習として、Unit３のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
4	Unit４ Greenpeace	I'm afraid/Get/Madの用い方を理解できる。	予習として、Unit４のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
5	Unit５・６ Charity Begins at Home On-Line	Be ～ing/I hope youhave a good time/Too bad/Why don't you/Sure/I wish you good luck/I'm sure/I'll seeの用い方を理解できる。	予習として、Unit５・６のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
6	Unit７・８ Working for the Tinmes Modern Transportation	Have/most/most of/almost/almost all/Just think /Occasionally/Had better/Go right aheadの用い方を理解できる。	予習として、Unit７・８のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
7	Review Work Unit1～5	各UnitのセクションⅤ：Vocabulary Buildingに出てくる表現を理解できる。	予習として、Unit１～５のセクションⅤの概要を理解しておくこと。
8	中　間　試　験		
9	答案返却・解答解説 Lesson１～５	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	復習として、Unit１～５のセクションⅠ～Ⅳの概要を理解すること。
10	Unit９・１０ Summer Vacations Man's Best Friend Goes to School	You/Ever and never in questions & answers//Not at all/You mean/I can imagine/I wonderなどの用い方を理解できる。	予習として、Unit９・１０のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
11	Unit１１・１２ The Downside of Hobbies Electronic Mail	pretty/Keeping the conversation going/Interesting & Interestedの用い方を理解できる。	予習として、Unit１１・１２のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
12	Unit１３・１４ Learning from Mistakes Around the World with Mr.Saito	After all/If you're not doing anything/To have luck/Quite a few/No thanks/Maybe soの用い方を理解できる。	予習として、Unit１３・１４のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
13	Unit１５・１６ Photography Recycle or Pre-cycle	Watch what you're doing/Make it/Suppose/I'd like to/Grownup/Good at/What started you/Feel freeの用い方を理解できる。	予習として、Unit１５・１６のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
14	Review Work Unit６～１６	各UnitのセクションⅤ：Vocabulary Buildingに出てくる表現を理解できる。	予習として、Unit６～１６のセクションⅤの概要を理解しておくこと。
	期　末　試　験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	復習として、Unit１～１６のセクションⅠ～Ⅳの概要を理解すること。
総　学　習　時　間　数			45 時間
講　　義			30 時間
自学自習			15 時間